

～JAFSA50周年(2018年)に向かって～

特定非営利活動法人

JAFSA(国際教育交流協議会)団体正会員 ご入会のお誘い

世界はボーダーレスとなり、教育もグローバル化から逃れることはできません。高等教育機関も国際的視野がないと生き残れない時代が来ました。日本政府が打ち出した「留学生30万人計画」や「グローバル30」など様々な施策が推進されようとしていましたが、東日本大震災の影響を受けています。今後、日本に来る留学生をどのように増やすかが課題です。

JAFSA が 40 年以上に渡って支援を行ってきた日本の国際交流、特に留学生交流は今、大きな転換期を迎えているといえます。留学生増による学内外の大きな変化に教職員は対応していかなければなりません。留学生の受入れにあたっては入国・入学に始まり、住居手配、生活相談、学習支援、就職指導など、多岐にわたってサポートしなければなりません。現在はインフラが完全に整っているとは言えない状況です。一方では海外留学を希望する日本人学生も増加させていかなければなりません。

どの教育機関でも他機関との差別化、個性化、あるいは地域との連携等を明確に打ち出すことを迫られています。留学生たちのグローバルなモビリティが促進されている今、それぞれの教育機関がそれぞれの個性で努力することも大切ですが、基盤の部分では日本全体(オールジャパン)での利害を越えた協力関係が必要となっています。

JAFSA は、240 を超える団体会員(210 以上の国内大学・約 30 の在日海外公館/教育関係機関)、加えて 30 を超える企業による賛助会員によって構成されています。国際教育交流では日本最大の民間ネットワーク組織「JAFSA」の役割はますます重要となっています。2018 年の 50 周年に向かって、今までの実績と経験を基に、さらに次へのステップへ進みます。この強力なネットワークに、ぜひご加入いただきますようお願い申し上げます。

1 活動内容・団体会員としてのメリット

1) 幅広いネットワーキング

現在、JAFSA が最も力を入れているテーマはネットワーキングです。

JAFSA のネットワークは、国際教育交流を柱に、団体・機関の垣根を越えて全国に広がっています。JAFSA 会員に加入することで、このネットワークの一端を担うことになり、幅広い情報交換・活動が可能となります。

(1) セミナー・ワークショップへの参加

年に数回、国際教育交流をテーマとした様々なセミナーやワークショップを会員向けに開催しています。情報収集、自己啓発の場として、また他機関の参加者との交流の場として、ぜひ

お役立てください。

また、団体会員の方にはイベント会場提供にご協力いただくことがあります。全国からの参加者に、貴校・貴機関のプレゼンスを示し、施設・キャンパス・活動内容などをアピールするまたとないチャンスです。

(2) イベント・セミナーの協力

貴団体開催のイベント・セミナー・研修を、JAFSA 共催・協力という形の実施も可能です。共催などのバックアップが可能なのは団体会員向けの特徴です。個人会員の場合、所属先が大学・教育機関でも共催等のバックアップはできません。

JAFSA 共催・協力の体制により、全国の会員へ幅広く募集・告知ができます。参加の呼び掛けだけでなく、貴団体の活動内容などを広くアピールする機会ともなります。

(3) メーリングリスト活用

JAFSA の会員専用メーリングリストに登録できます。メーリングリストは、国内外の大学等の国際交流担当者約 2,000 以上のメールアドレスが登録されているもので、このネットワークの中に加入できます。

日常的に全国から最新で正確な情報を入手でき、意見交換もできます。また、他の多くの機関の担当者とネットワークすることにより、業務のアウトソースや効率化、新プロジェクトの創造など専門知識や情報を生かすことができます。

また、賛助会員による新しいプロジェクトやアウトソースサービスなども、ご利用いただけるチャンスが多々あります。

(4) 海外教育機関とのグローバルネットワーク

諸外国の教育機関等の国際交流担当者とのネットワークができます。JAFSA と関係の深い諸団体には、NAFSA・AIEA(米国)、EAIE(欧州)、KAFSA・KAIE(韓国)、CAFSA(中国)、ISANA(豪州)、また国際交流に関する研究ジャーナル ASIE があり、これらを通じて新たな相互交流を開始するきっかけが作れる可能性があります。

またここで多くの協定校関係構築や新事業展開ができます。

2011 年 5 月下旬には第 63 回 NAFSA 年次大会(開催:カナダ・バンクーバー)に JAFSA 取りまとめで共同展示ブースを持ちました。また、9 月中旬開催の第 22 回 EAIE 年次大会(デンマーク・コペンハーゲン)にも多くのメンバーが参加予定です。NAFSA にも EAIE にも JAFSA セッションがあり、JAFSA メンバーは日本の国際教育交流について発表の機会が設けられます。2012 年 2 月開催の KAIE 年次大会、4 月開催の APAIE 年次大会へも JAFSA メンバーがセッションを持つことで参加予定です。

NAFSA での JAFSA 共同展示ブースに出展できるのは、団体会員のみです。団体会員として加入していただくことで、JAFSA のみならず、海外とのネットワークを広げるチャンスも得られるのです。

(5) 在日海外公館とのコラボレーション

米国大使館・アメリカンセンター・日米教育委員会(米国)、オーストラリア大使館、ブリティッシュ・カウンシル(英国)、カナダ大使館等と協力し、各々の国にある高等教育機関(大学)と交流会を開催しています。協定校の発掘や交流に役立っています。

(6) 国内関係団体とのコラボレーション

(社)国立大学協会、日本私立大学協会、(社)日本私立大学連盟との協力を図り、日本全体として、国際教育交流に力を入れるようにしています。

(7) 賛助会員とのコラボレーション

企業で賛助会員として加盟されているメンバーは、ソーシャルビジネスに真剣に取り組んでいます。大学として、アウトソースした方がよいと考えられる事項(留学生の宿舎や就職支援など)について、コラボレーションが始まっています。是非今後ともお役立て下さい。

2) プロフェッショナルとしての研修

(1) 定例研修

JAFSA は国際交流担当者のスタッフディベロップメントを支援しています。そのひとつとして研修を実施しています。JAFSA の研修は、PDP(=Professional Development Program/国際交流担当者のプロとして初任者から上級者に至るさまざまな専門能力とスキルを身に付けるための研修プログラム)や、実務に役立つ語学のスキルアッププログラムを用意しています。ぜひ貴機関のご担当者のスキルアップにお役立てください。

※詳しくは、JAFSA ホームページをご覧ください。

(2) 各大学との共催など

各大学と共催・協力し研修やセミナーを適宜実施しています。

3) 受入れ実務等の負担軽減

(1) 中国学位・学歴認証システム登録業務

中国からの留学生受入れに際し、大学統一試験合格認証を始め、さまざまな認証システムを活用することで、受入れ部署の負担を減らすことが可能です。JAFSA は(財)日本語教育振興協会と協議を重ね、2009年12月よりシステムの登録業務を行っています。ご利用できるのは団体正会員(大学)のみです。有料ですが、ぜひご活用ください。

2 会員としての義務

定款等規約類を遵守し会費を納めていただく以外には厳密な意味の「義務」はありません。日頃から JAFSA の活動を積極的にご活用ください。また新しい企画やご要望があれば、ぜひ事務局へお知らせください。また、年一度の総会には議決権を持っておられる関係でぜひご参加いただき、運営に関してご意見を賜れば幸いです。

3 会費および入会手続

団体正会員は年 100,000 円です。4 月から翌年 3 月まで有効です。当該年度初めにお支払いください。年度途中から入られても同額ですが 1 月を過ぎて入会される場合には別途ご案内いたします。

入会手続きは簡単です。ホームページより入会申込書をダウンロード、ご記入・ご捺印の上、当事務局宛にメールして下さい。原本はご捺印の上別途郵送ください。入会申込書受領後、会費納入のご案内等を事務局よりご連絡いたします。

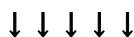
4 最後に

より多くの大学・教育機関・企業が JAFSA 会員となり、産学官連携して社会的活動を実施することで、高等教育における国際化の認知度も高まると信じます。

JAFSA は国際教育交流では日本最大の民間ネットワーク組織です。

貴大学・貴機関のご加入を心よりお待ちしております！！

お問合せは今すぐ下記 JAFSA 事務局へ！！



特定非営利活動法人 JAFSA(国際教育交流協議会) 事務局

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町 538 平成ビル 5F

TEL: 03-5155-3780

FAX: 03-5155-3786

E-mail: info@jafsa.org

URL: <http://www.jafsa.org>